



↑バングラデシュの夕日(2022年3月撮影)

ACEF ニュースレター【創立記念日号】

2022年10月

いつもACEFのメールニュースをご愛読いただきありがとうございます。ACEFの日本での活動とバングラデシュでのパートナーとの共働事業の今を伝えるために、会員、寄付者、イベント等で出会った皆さまにお送りしています。本日はご報告やご案内など6本の記事をお届けいたします。

✨What's New!✨

- ①<巻頭言>終わりのないパートナーシップ(西村幹子 理事)
- ②尊厳ワークショップのご案内【11月3日(木・祝)】
- ③バングラデシュの手工芸品販売～バザーの様子～
- ④2022年秋のサービスラーニングの学生よりメッセージ
- ⑤グローバルフェスタJAPAN 2022にACEFも参加しました！
- ⑥ACEFリーフレットがリニューアルされました

※PDFのニュースレターはホームページよりダウンロードできます。

▶URL https://acef.or.jp/mail_mag_2022october/

※English version available on homepage!

<巻頭言>終わりのないパートナーシップ(西村幹子 理事)

「パートナーシップにはさまざまな意味がありますが、共通の目標をもち、相互の信頼関係のもと何等かの取り組みを共にオーナーシップをもって行うという意味が一般的です。前向きなイメージのあるこの言葉には、実は楽だけでなく苦も共にし、責任を分け合うという意味も含まれています。

貧しい子どもたちを助けたい、教育機会をすべての子どもに届けたい、という気持ち自体は純粋で尊いもののように見えますが、自分に余裕があるから他者を助ける、自分より弱そうな人を助けることで自尊心を高める、というのは、条件が変わればコミットメントも変わる関係です。慈善活動やボランティアも、ともすると自分の心を深堀していくと、そこにパートナーシップは存在していないことがあります。

東日本大震災のときに、BDPの学校の先生たちが少ない給料の中から寄付を集めて送ってくださったとき、そこには「あるからあげる」のではなく、「ともに苦を分かち合う」という愛の心がありました。今、持っているから与えるのではなく、共通の目標をもって支え合うといっても良いかもしれません。そして、それは終わりのないパートナーシップなのではないかと思います。」(西村幹子)

尊厳ワークショップのご案内【11月3日(木・祝)】

【尊厳ワークショップ(パート2)講師:ジェフリー・メンセンディーク】

尊厳の学びに関心のある人たちと一緒に、もう一步踏み込んだ学びをします。1回目のワークショップでは尊厳を知ることを中心にしました。今回は尊厳を守るための実践です。尊厳を守るために「あなただったらどうする？」を糸口にみんなで考えます。ワークショップ経験者をはじめ、今回が初めてという方も歓迎します。(参加前に「尊厳のリーダーシップ」1・2章を読んでおくとう理解が進みます)皆さまの奮ってのご参加をお待ちしております！

- ▶日時 11月3日(木・祝) 13:00～16:00
- ▶場所 桜美林大学新宿キャンパス(南棟JS302教室)またはZOOMオンライン
※前日までにZOOMリンクをお送りいたします。
- ▶申込フォーム <https://forms.gle/72NvDX6NnBpBBCmG7>
- ▶チラシPDF https://acef.or.jp/campaign/acef_dignityworkshop2/
- ▶持ち物 筆記用具
- ▶参加費 無料



バングラデシュの手工芸品販売～バザーの様子～

だいぶ涼しくなり秋の季節になりました。そして秋といえば学園祭やバザーの季節です！今年の秋も多くの方にACEFがバングラデシュから仕入れている手工芸品をお取り扱いいただいています。ACEFオリジナルのベンガルティーセットや、BDPスクールの子どもも手伝って制作した象マスコット、お子様に人気な動物柄のジュートほうき、編み込みのジュート手提げバッグなどさまざまなものを販売いただきました！

▶バングラデシュ手工芸品について詳しくは <https://acef.or.jp/kokunai/bangladesh-craft-sales/>

▼東洋英和幼稚園母の会主催 秋のバザーの様子



▼農村伝道神学校 バザーの様子



2022年秋のサービ斯拉ーニングの学生よりメッセージ

国際基督教大学 一年

笹岡みちる

「オンラインミーティングを通して、世界は広いと感じました。支援・学び・機会を必要とし、色々な理由で苦しんでいる人がいると知りました。世界には多様な文化があり、各地域には特徴があると改めて知りました。学び合うことにより、お互いの尊厳を尊重し合えたり、より能動的な発見があると思いました。ですが同時に世界は狭いと感じました。言葉が通じなくても、関わり方や助け方がわからなくても互いに交わりを通して、影響し学び合える。また対話を通じて他人の世界の一部を知ることで、自分の世界も広がるように感じます。

ミーティングを通して自分の方向性が段々定まっていくのを感じ、コミュニケーションの大切さを再び感じました。今後の多様で不確かな世界を生き抜くためには、人々は互いに話し合い、コミュニケーションを取り続けることが必要だと思いました。互いに影響し合う中で、いずれ自分が世界に影響を与えるようになるのだらうと思いました。その影響が平和をもたらすものでありたいと感じました。」(笹岡みちる)

国際基督教大学 一年

六車莉菜

「大学の授業をきっかけにACEFに出会い、 Bangladesh の人々や文化、教育制度について学ぶことができました。

ACEF オフィスでは、私たちの考えを発言でき、お互いを尊重する空間がありました。オンラインのインタビューを行い、BDP 事務局

局長のアンプロスさん、ACEF の現地協力者で理学療法士の山内さん (ACEF 評議員)、教育分野に詳しい

コンサルタントの福嶋さん (元 JICA ボランティア) にも、貴重なお話を伺うことができました。短い時間ではありましたが、ACEF が子どもたちを支援するために多様な取り組みをしていることに自身の見聞を広めることができました。BDP や ACEF でもジェンダー平等を浸透させようとしていることに感心しました。

ACEF の皆様、私たちにこのような機会をください、どうもありがとうございました。」(六車莉菜)



グローバルフェスタ JAPAN 2022 にて ACEF も発表しました！

10月1日(土)に開催されたグローバルフェスタ JAPAN にて、ACEF の発表にご参加いただきありがとうございました！当日は皆さまよりたくさんのコメントやご質問をいただき心より感謝いたします。今年のグロフェス

ではスタディツアーに参加した2名の学生(国際基督教大学、青山学院大学)よりバングラデシュという国の紹介、ACEFのパートナー団体BDP(Basic Development Partners)が運営しているノンフォーマル小学校について、そして教育と女性のエンパワーメントについて学んだことを発表しました。「スタディツアーに参加してみたい〜」「興味がある!」という方は、ぜひホームページをチェックしてみてくださいね!

▶ACEF スタディツアーについて <https://acef.or.jp/kokunai/study-tour/>

↓グローバルオンラインでの発表の様子

↓BDP小学校卒業生ヘインタビュー

↓マイクロファイナンス受益者ヘインタビュー



ACEFリーフレットがリニューアルされました

ACEFの団体紹介リーフレットがリニューアルされました! ACEFという団体について、ミッション・ビジョン、またBDP小学校の最新の生徒数まで知ることができます。たくさんご用意がありますので、ご希望の方はぜひ事務局にお問合せください。

- ▶メールアドレス: public@acef.or.jp
- ▶事務局TEL: 03-3208-1925
- ▶お名前、ご住所、言語(日・英)、部数をお知らせください。

SNSのご案内・フォローして最新情報をゲット!

皆さまにいち早くACEFのニュースをお届けすべく、ACEFでは各種SNSも運営しております。

【Facebook, Instagram, Twitter, YouTube】

緊急アナウンス以外にも、バングラデシュの日常風景や、ACEF国内外の活動について幅広いコンテンツをタイムリーにお届けします。ホームページからフォローできます!

▶ACEFホームページ <https://acef.or.jp/>

皆さまの多大なるご支援とご協力に感謝申し上げます。

今後ともACEFをよろしくお願いいたします。

(特活)アジアキリスト教教育基金 (ACEF)

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18 日本キリスト教会館26号室

tel 03-3208-1925 fax 03-6278-9180

担当: 出立

メールニュースについてのご意見や配信停止はpublic@acef.or.jpまで
